

# 46 ■上杉謙信の居城跡をめぐる探鳥コース

## 春日山 (上越市)

■環境：公園  
 ■対象：家族  
 ■期間：4月下旬  
 7月下旬

高田平野・日本海を一望できる上杉謙信ゆかりの春日山は、久比岐県立自然公園に指定されている。春日神社は正月には初もうでの参拝客でにぎわう。人手の入らない自然が残っているため息する鳥類も多い。

### <夏鳥の歌声が響きわたる森へ>

森の緑が光に輝く初夏、森はオオルリやキビタキなど夏鳥のさえずる声でにぎやかになる。

春日神社下の駐車場に車を止め、春日神社に続く石段を登り、春日山神社を右に見て、謙信像の前を通り三ノ丸に向かう。森に入ると薄暗い林の中からヤブサメの声が聞こえてくる。森を抜け第2駐車場周辺の広葉樹林の森では、キビタキのオレンジ色の羽が淡い緑の葉に浮かび上がる光景を見ることができる。さらに本丸を目指して山を登っていくとメジロやヤマガラ、ウ

グイスの美しいさえずりやかわいい姿を見ることができる。急な坂を登りきると、高田平野、日本海、海上には佐渡島を一望できる本丸跡だ。山頂では、上昇気流をつかまえて滑空するトビ、サシバ、時にはハチクマなどの猛禽類を見ることができる。

山頂の護摩堂から階段を下ると約10分で春日神社の裏に出る。昔からの植生の残る美しい森では、光にあたって輝くオオルリの姿とすばらしい歌声を聞くことができる。森の奥から時折、アオゲラやコゲラのドラミングが響いてくる。

### <下大池で見られる水鳥>

第1駐車場か神社下駐車場に車を止めて、道路に沿って道を下ると、向かって右側に春日山城跡の看板が見えてくる。看板に沿って右に曲がると砂利道になり、下大池に出合う。

この池は、かんがい用水で秋には水を落としてしまう。しかし春から秋にかけてはさまざまな水鳥たちを観察することができる。早春のころは、オシドリ、マガモが水面を泳ぎ、枯れた木



春日神社と春日山



の枝には小魚を狙うカワセミの姿が見られる。カイツブリ、カルガモは水のある間はずっと見ることができる。

水を落とした秋から冬にかけては、水たまりに残されたエビや小魚を目当てにコサギ、ダイサギ、アオサギなどのサギ類がやってくる。望遠鏡でサギたちの採食方法を観察するのも楽しい。(勝俣将明)

### メモ

**交通** JR春日山駅下車、徒歩30分。もしくはJR高田駅より春日山下線のバスで、春日山下下車、徒歩20分。

☐ 春日山のおもとから、第1、第2、神社下、謙信像前の4つの駐車場がある。トイレは神社下駐車場内にある。

**探鳥会** 特に定期的なものはない。山道はファミリー向けのハイキングコースになっていて野鳥観察だけでなく史跡めぐりも楽しめる。

**道草** 神社の境内には、野草園があり植物1種ごとに名前の札が置かれ、身近な植物の名前を覚えるには最適である。